

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日 令和7年3月29日

法人名	園 名
社会福祉法人白ゆり会	キッズガーデン白ゆり

まとめ 全体平均 4.32

第2章第2節 乳児期の園児の保育	保護者の方としっかりコミュニケーションをとり、連絡帳を活用しながら、保護者、職員間で共有し日々の保育を行うことができた。給食室との連携で、離乳食もスムーズに運んできている。身体機能も順調に発育をみせ、動きも活発で、もう少しで歩行もしそうである。今年度で兄弟の年齢到達転園と一緒に転園してしまうので今後の成長が見られないのが残念である。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	すごろく遊びで、日々の遊びを進行し、様々な領域を網羅して遊ぶことができたと思う。天候、気温など可能な限り、全園児で園外散策にでかけた。近隣の公園では、かけっこ、大縄跳び、鉄棒、滑り台、風揚げ大会（1月）など楽しんだ。自然の変化など気づいたこと言語にしたり、異年齢で手を繋ぐことにより友達を気遣えたりすることもできるようになってきている。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	0
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	4月～6月までは、熱や体調不良で欠席する子どもがとて多かった。慣らし保育についても、体調を優先し無理なく進めるようにした。
第3章 健康及び安全	朝の受付での保護者との会話を丁寧に行い、昨日から朝までの子どもの健康状態を把握しその日の保育を行った。その日の子どもの変化を見逃さず、異常があれば必要に応じて速やかに対処した。園外散策マップをこしらえ、入り口に掲示している。災害の備えとしては、今年度、能登半島地震をはじめ、大雨、山火事と大きな災害があった。それに対応した臨時の避難訓練を行ったり、避難経路の確認を行った。年に2回持ち出し袋の
第4章 子育ての支援	小規模保育園の良さを活かし、保護者の方と日々しっかりとコミュニケーションをとることができた。園での活動内容を保護者の方によりわかりやすく伝えるため、ドキュメンテーションで掲示するようにした。その際には必ず写真を添付し、子どものいきいきとした表情も見てもらえるようにした。
第5章 職員の資質向上	今年は昨年度よりオンラインでの研修に多く参加し、専門的知識を学ぶことができた。来年度も、様々な分野の研修に積極的に参加し、専門職としての資質を高めていきたい。
総合	日々の保育を大切に、チームワークよく明るく元気に保育を進めるようにしている。保育内容や理念などの勉強会をし、デイリープログラムの読み合わせや話し合いなど折に触れ、持つようにしてきた。オンライン研修やキャリアアップ研修、法人内での園内研修にも積極的に参加した。今後も職員間の「報・連・相」を大切に、共通理解をして、日々保育を行っていきたい。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.73
「3歳未満児保育」	32	4.47
「3歳以上児保育」	0	#DIV/0!
「教育保育の配慮事項」	16	4.19
「健康・安全」	29	4.17
「子育ての支援」	13	4.00
「職員の資質向上」	9	4.33
計	114	4.32

データグラフ

